



寺小屋研修会の募集

一雨ごとに緑も深まり、
若鮎おどる気持ちのよい季節となりました。
皆様、いかがお過ごしでしょうか。



さて、毎年恒例の夏休みの企画として
岐阜西教区青年僧の会では寺小屋研修会を開催しています。楽しい出会いと感動、
そして友情と思いやりの心が育まれることを願って、たくさんの若い和尚様方が
寝具の準備や食事の準備、レクレーションの準備をして
皆様のご参加をお待ちしております。
仏様の御縁のもと、どうぞお気軽にご参加下さい。

期日：平成29年7月24日(月)～25日(火)
 会場：慈溪寺(じけいじ)
 大垣市北方町1丁目1592番地
 ☎ 0584-81-4513
 資格：小学生3年生～中学生
 会費：3,000円(一人) 当日徴収となります。
 期限：平成29年7月10日まで
 (定員40名になり次第、募集締切となります)

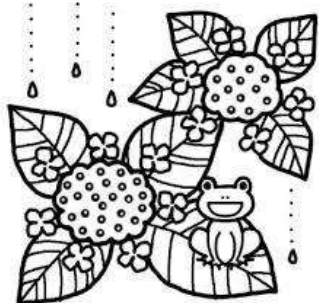
お申込書は大智寺にありますので、
お気軽にお声かけ下さい。

寺小屋研修問い合わせ先
 研修担当：慈溪寺(090-4792-4634)

- 持ち物 ①洗面用具 ②タオル・タオルケット ③ハンカチ・ティッシュ
 ④ラジオ体操カード ⑤常備薬 ⑥着替え・パジャマ ⑦帽子 ⑧軍手
 ⑨筆記用具 ⑩健康保険証の写し ⑪雑巾一枚

美濃西国三十三観音霊場会 総会が開かれました

お天気に恵まれた5月20日、大智寺にて
美濃西国三十三観音霊場会の総会が開かれました。
三十三ヶ寺の和尚様方にお集まりいただき、
今回の総会では役員任期満了に伴い、
主に役員改選が行われました。



その結果、4年間 美濃西国三十三観音霊場会の会長を
務められた恵利寺様の後任として小山寺様が
会長に選出され、理事も入れ替わりました。
来年4月には総開帳を迎えます。
事務局として作成に取り組んできたホームページも
最終チェックの段階を迎えています。
今後も気持ちよくお参りしていただける工夫を
みんなで考えていければと思います。



大智寺だより

平成29年水無月
Vol.86

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1
電話：058-229-1532

◀Mail▶

hybsr245@ybb.ne.jp

◀ホームページ▶

大智寺

検索

<http://www.daichiji.com>

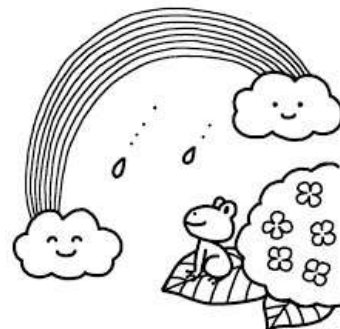
当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去の紙面をご覧いただけ
ます。ご活用ください。

5月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます

平成29年度 第54回
岐阜西教区 花園大会

毎年、岐阜西教区の臨済宗妙心寺派を信仰する檀信徒の方々が一同に集まり、お釈迦様の教えにそって生活していくことを再確認し、今を感謝する「花園大会」が開かれています。
今年、6月17日(火)午前10時～15時まで
長良川国際会議場にて開かれます。



今回は、白隠禅師250年遠諱に当たるため、午前の部にて遠諱法要が執り行われ、白隠禅師の報恩に感謝します。昼食休憩をはさみ、午後の部ではすわらじ劇園「花火」を観劇します。
一年に一度のこの機会、皆様とご一緒に楽しく過ごすことができると願います。

公益財団法人 禅文化研究所 主催
サンガセミナーのご案内

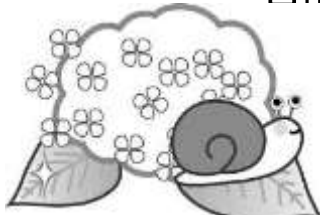
京都に、禅の研究に力を注ぐ臨済宗立の「花園大学」がありますが、その大学内に「禅文化研究所」があります。
この禅文化研究所では、5年ほど前から仏教徒の集まり「サンガ」を大切にすべく、僧侶も一般の方も共に学ぶ「サンガセミナー」を開いています。
今年、以下9講座開設されますので、ご案内致します。



講座名	開設日	時間	受講料
① 意外と楽しい禅の語録講座 駒澤大学教授 小川隆氏が禅録をより口語的な読み方でやさしく教えてください。	6月19日	10:00~12:00	4000円
② 軸を鍛える一人整体法 京都薬師寺住職 榊島勝徳氏が一人整体を通して心身を整える方法を教えてください。	6月19日	13:00~15:00	4000円
③ 禅の建築講座 室町・桃山・江戸前期・江戸後期それぞれの禅宗様建築について講義があります。	7月3日	13:00~16:00	5000円
④ 日々の花講座 東京にて日常の花を生ける教室「日々花」を主宰する雨宮ゆか氏の指導で花を生けます。	9月20日	10:00~12:00	6000円
⑤ お寺で写真講座 写真家 柴田明蘭氏の指導で各自持参の一眼レフカメラで実際にお寺の庭を撮影します。	9月20日	13:00~16:00	5000円
⑥ 精進料理講座 妙心寺山内東林院住職 西川玄房氏と精進料理を調理し、禅の心に触れる講座です。	10月30日	10:00~13:00	4500円
⑦ お墓の法律講座 長野県長昌寺住職 田口誠道氏とお墓や葬送の行方を考え、寺院の役割を考えます。	10月30日	13:30~15:30	4000円
⑧ 水墨画講座 水墨画家 平川功氏の指導の下、来年の干支「戌」を題材に水墨画を体験します。	12月4日	10:00~12:00	4000円
⑨ 涅槃図お絵解き講座 長野県長谷寺寺庭 岡澤恭子氏より涅槃図絵解きのお話を伺います。	12月4日	13:00~15:00	4000円

どの企画もとても魅力的で質の高いものばかりです。
お申込みは禅文化研究所ホームページで受け付けています。<http://www.zenbunka.or.jp>
お問い合わせ先は禅文化研究所 サンガセミナー担当 西村・中野 (TEL 075-811-1432)

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31ページより

「我身に悪行わがみあくぎょうするのみか 人に膽性きもせを傷めさせいたせ」

34

紫陽花の その水いろのかなしみの 滴したたるるゆふべ 蝸ひぐらしのなく（若山牧水）
今月さかりを迎える紫陽花の花は、青、水色、赤、紫と鮮やかに七変化を見せてくれます。
この紫陽花の色の変化は、昔から心の色に例えられ愛でられてきました。

こころの色

私がなにを思ってきたか	それがいまの私をつくっている
あなたがなにを考えてきたか	それがいまのあなたそのもの
世界はみんなのところで決まる	世界はみんなのところで変わる
あかんぼうのころは白紙	大きくなると色にそまる
私のころはどんな色？	きれいな色にころをそめたい
きれいな色ならきつと幸せ	すきとおっていればもっと幸せ
（谷川俊太郎 「すこやかに おだやかに しなやかに」）	

「一切唯心造」一切すべてのものは、ただ心が造り出している現象である、と仏教では説かれています。
心の色は様々に移り変わっても、悪行や人に膽性を傷めさせるような色とは無縁でありたいと
紫陽花は静かに教えてくれているようです。

今月のひまわり

すっかり日も長くなり、そろそろ梅雨入りを迎えます。皆様、お変わりありませんか。

お寺では、先月久しぶりに私が風邪を引き、娘に移し、一週間程モタモタした日が続きました。妊娠5か月目の安定期とはいえ、薬は飲めないため、漢方薬と保冷剤にすいぶんお世話になりました。冷蔵庫の片隅に増えて捨てようか迷っていた保冷剤の心地よいこと！捨てずに良かったと心から思いました（笑）
保冷剤は99%の水と高吸水性樹脂で構成されていますが、世界トップシェアを誇る日本の高吸水性樹脂はその吸水力の高さから特に紙おむつに使われていることで知られています。自らの重さの数百倍から千倍ほどの水を保持することができるため、今では砂漠緑化への活用が研究されているようです。
砂漠ではたくさん水をためておけることが豊かさへとつながりますが、因果応報を説く仏教では、心にたくさん困をためておくことが豊かさへの道といわれています。原因を心にとめておくことは、字の成り立ちの通り「恩」を知ることにつながります。
高吸水性樹脂のように心の吸水力を上げ、今自分がこうして生きていられる原因を大切に思い「お蔭様で」と頭を下げる気持ちを心にたくさんとめておけば、心の砂漠化は避けられるのかもしれない。これから雨の季節、心もめいっぱい潤い（じょう）を願います。

～ シリーズ いますぐできる精進の味 ～

♪ お寺のぶきっちゃんでも簡単に作れた ヘルシーなお味 ♪

初夏のサラダに アボガドと豆腐のサラダ

- ① 豆腐1丁をふきんに乗せ1時間ほど水切りをする。
- ② アボガドと水切りした豆腐を1センチほどの角切りにする。
- ③ 白味噌100g、砂糖15g、酢大さじ1、ごま油小さじ半分 昆布だし大さじ3を混ぜ合わせ味噌ダレを作る。
- ④ 角切りした豆腐、アボガドの上に味噌ダレをかけてできあがり。



豆腐は水切りをしないとサラダ全体が水っぽくなります。他にフルーツトマトやパプリカなどを加えると見た目にも華やかになります。簡単な一品ですが、いかがでしょうか。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

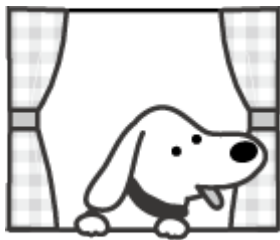
初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

6月25日(日) 一回 500円
(朝8時~9時) (内 300円は義援金)
要申込

5月写経会 備忘録

カキツバタやスイレンが咲き始めた5月の日曜日。今回はお写経のあと「馬のす」という落語を楽しみました。自分がされて嫌なことは、人も嫌。その心を他人だけでなく馬にも虫にも花にももっていく素直さを教えてくれる落語でした。お話の後にはとらやの菊最中で一服。和やかな一日の始まりとなりました。



お釈迦様が生きていた頃
あんな人、こんな人

第五話 「まだまだ活躍中」
ヒンドーラさん



お釈迦様の大弟子で十六羅漢の第一に列せられているヒンドーラさんは、弁舌も豪快で、獅子吼第一の尊者と称せられていました。ところが、少しおっちょこちょいでお釈迦様の逆鱗に触れてしまい、お釈迦様のいる精舎を出て衆生済度に身を尽くすこととなりました。お釈迦様が亡くなった後も、弥勒菩薩が現れる56億7千万年先まで涅槃に入ることはならん、仏法を広め、人々の困りごとや悩み事に寄り添うように、とお釈迦様から使命を与えられました。

さて、そんな理由で現在も生存中とされるヒンドーラさん。日本では昭和の中期頃まで、あちこちの山寺の縁側に祀られていました。「今日も暑いな、このところひどい干ばつで田んぼもすっかり干乾びてしまった」そんな時、村の代表が夜陰にまぎれてお寺の縁側からヒンドーラさんをこっそり持ち出します。お寺の住職に見つかると効力がなくなるため、そーっと抱えて田んぼまでいき湯水で底の方にわずかに残った泥水の中にヒンドーラさんを沈めます。すると不思議なくらい雨が降ったといわれています。

この雨乞いのヒンドーラさん、日本では「びんずるさん」の呼び名で今も親しまれています。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めてまずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、ご予約の上 ご来山ください。